

大学連携 ～大学ってどんなところ？～ 2017年6月10日（土）

府立の工科高校（工学系設置3校）が大阪工業大学を訪問しました。高校と大学の違い、大学のスケールや充実した施設に感動していました。特別講演や現役大学生たちによるプロジェクト活動についてのお話もいただきました。質疑応答では、活発に質問をおこない、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



大学生とのトークセッションの様子

生徒たちの感想（抜粋）

◇特別講演について

- 大学では、中・高では学べない専門的なことを学ぶことができ、自分のためになるコミュニケーション能力や英会話など、社会に出て特に役立つことも学べる。
- 「建学の精神」は、「世のため、人のため、地域のため、実践的技術を持ち、現場で活躍できる専門職業人の育成」と教えて頂いた。
- 大学のキャリア形成支援システムは、1回生で知識の土台を築き、2回生で自分の興味に気付き、3回生で研究室を決め、4回生で研究に取り組むと知った。

◇トークセッションについて

- 部活動も多く、大学から予算が出る、「プロジェクト活動」がある事を知った。プロジェクトによっては、企業とスポンサー契約をして、企業からも資金援助してもらえるのは、素晴らしい事だと思った。
- 3人のプロジェクト活動の話聞き、全員がはきはきと話をされて、楽しそうに活動の内容を報告していた。プロジェクト活動は、夢を実現する場でもあると思う。異なった学科の学生でも、協力して活動しているのは、興味深いと思った。

◇全体的な感想

- 大学についての講義を聞き、どんな学科に行きたいか、また、将来の夢について、考える良い機会になったと思う。大学での勉強が厳しいと聞き、高校での勉強をもっと頑張りたいと思う。
- 高校の今から、勉強と部活動の両立をしっかりとさせたいと思う。
- 貴重な体験をしたと思います。先生方、学生の皆様、本当にありがとうございました。